

2022年度 企業アンケート結果について

1. 対象企業数：

本学卒業生の就職実績のある企業 1,303社 （回答260社）

2. 実施期間：

2023年3月20日（月）～3月31日（金）

3. 目的

本学のキャリア教育等へ反映させ教育改善へ役立てることを目的とする。

【問い合わせ先】

東京電機大学

学生支援センター（キャリア支援・就職担当）

IRセンター

Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。

Q2. 最近（目安4～5年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。

いない場合は、Q7にお進みください。

Q3. 最近（目安4～5年の間）貴社を退職した本学卒業生はいますか。

Q4. 最近（目安4～5年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との比較において以下の能力等はどのように感じられますか。1～5の該当する番号を選択ください。

- a.コミュニケーション能力 b.意欲・積極性 c.基礎的な知識・技術 d.応用力・想像力
e.日本語力・文章力 f.論理的思考 g.語学力 h.問題解決能力・実行力 i.ストレス耐性・粘り強さ

5：高い 4：やや高い 3：ふつう 2：やや低い 1：低い

Q5. Q4.に関連し、本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。

当てはまるものすべてにチェックください。

- ① コミュニケーション能力の育成 ② 課題解決型教育
③ 研究成果発表などプレゼン能力 ④ 専門ソフト等のスキルアップ
⑤ より実践的な実験・実習 ⑥ 一般常識・教養教育 ⑦ グループワーク
⑧ キャリア教育 ⑨ インターンシップ ⑩ 資格取得支援 ⑪ 英語教育
⑫ 日本語力・文章力 ⑬ メンタルトレーニング ⑭ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q6. 最近（目安4～5年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。

当てはまるものすべてにチェックしてください。

- ① まじめで手堅い ② 素直で指示によく従う ③ 協調性がある
④ リーダーシップがある ⑤ 勉強熱心で向上心が高い ⑥ 同窓のつながりが強い
⑦ 積極的で主体性がある ⑧ 競争意識が高い ⑨ メンタル的に強い ⑩ その他

※上記でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものをご選択ください。

Q7. 最近（目安4～5年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。

- ① 大変満足 ② おおむね満足 ③ 満足ではない

Q8. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

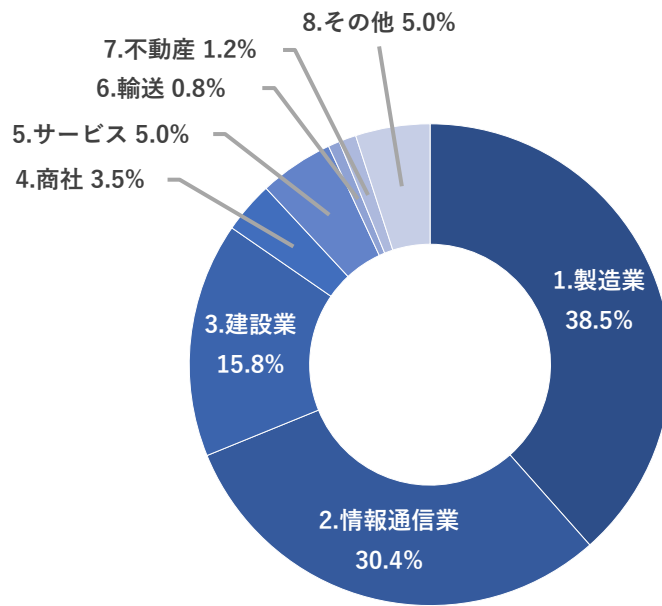
- ① アルバイトなどの社会人経験 ② 学生団体・部活・サークル活動
③ グループ・団体等でのリーダー体験 ④ ボランティア活動
⑤ イベント等の企画・運営 ⑥ 社会人との交流 ⑦ コンテスト・競技会等への参加
⑧ 趣味等のコミュニティーへの参加 ⑨ 留学等の海外体験 ⑩ その他

Q9. コロナ禍の影響により、大学がオンライン授業を導入していることについてご意見があればお聞かせください。

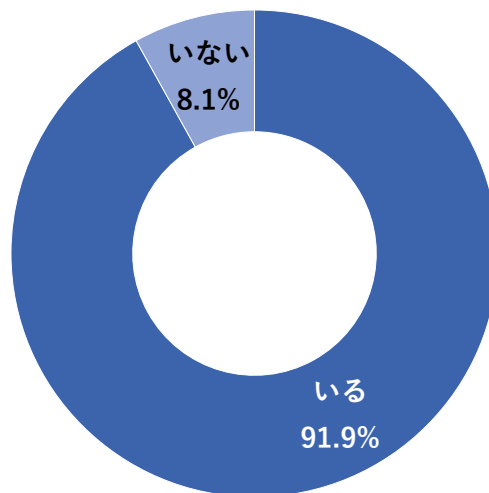
Q10. コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。

Q11. その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。

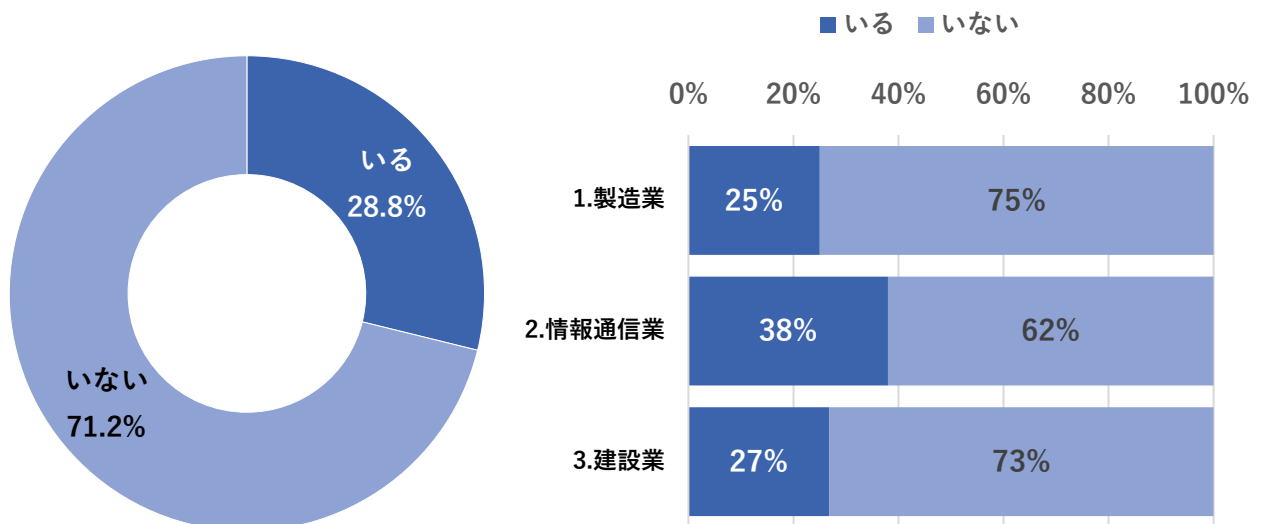
Q1. 貴社の業種分類についてお答えください。



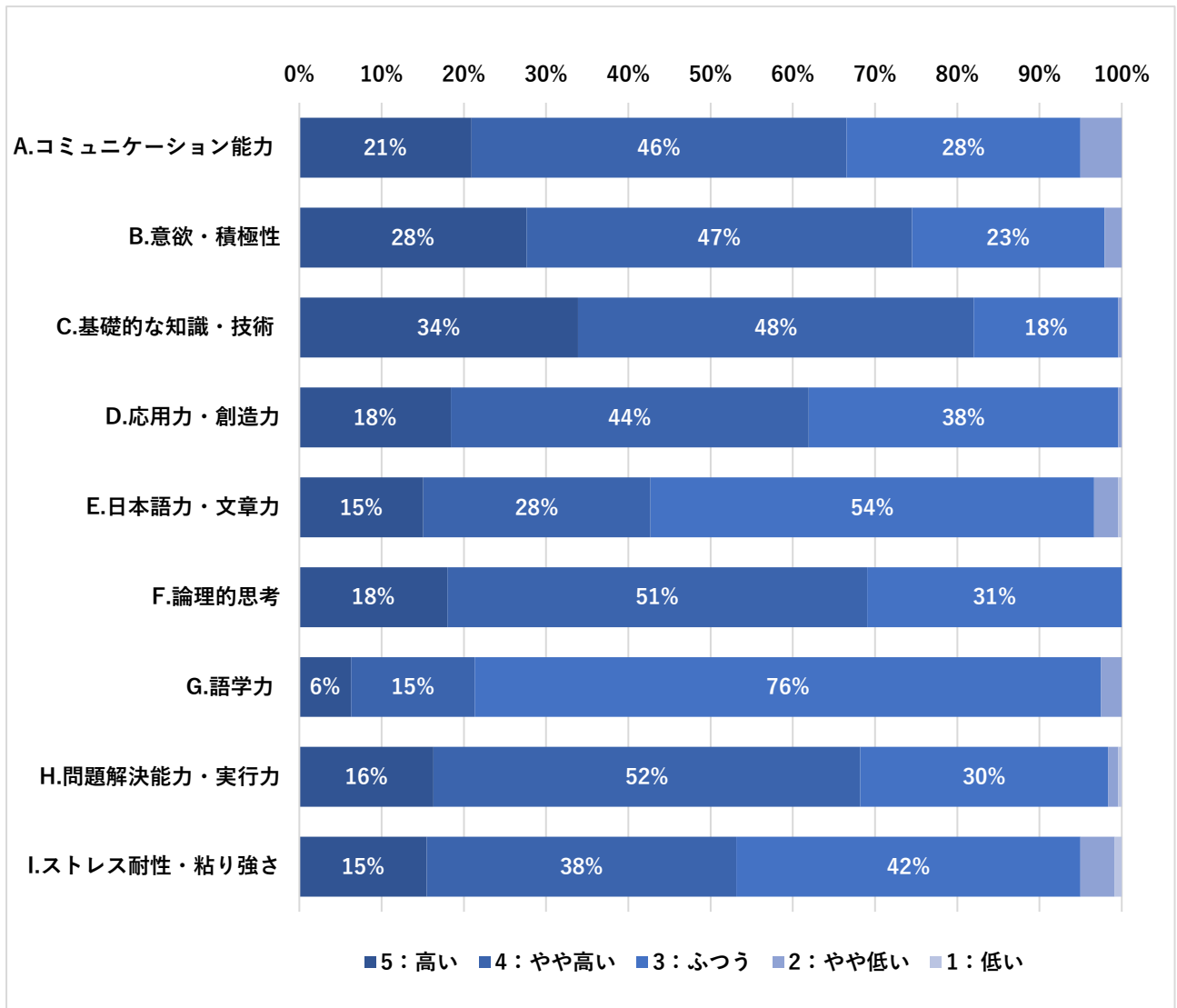
Q2. 最近（2018年～2022年の間）貴社に入社した本学卒業生はいますか。



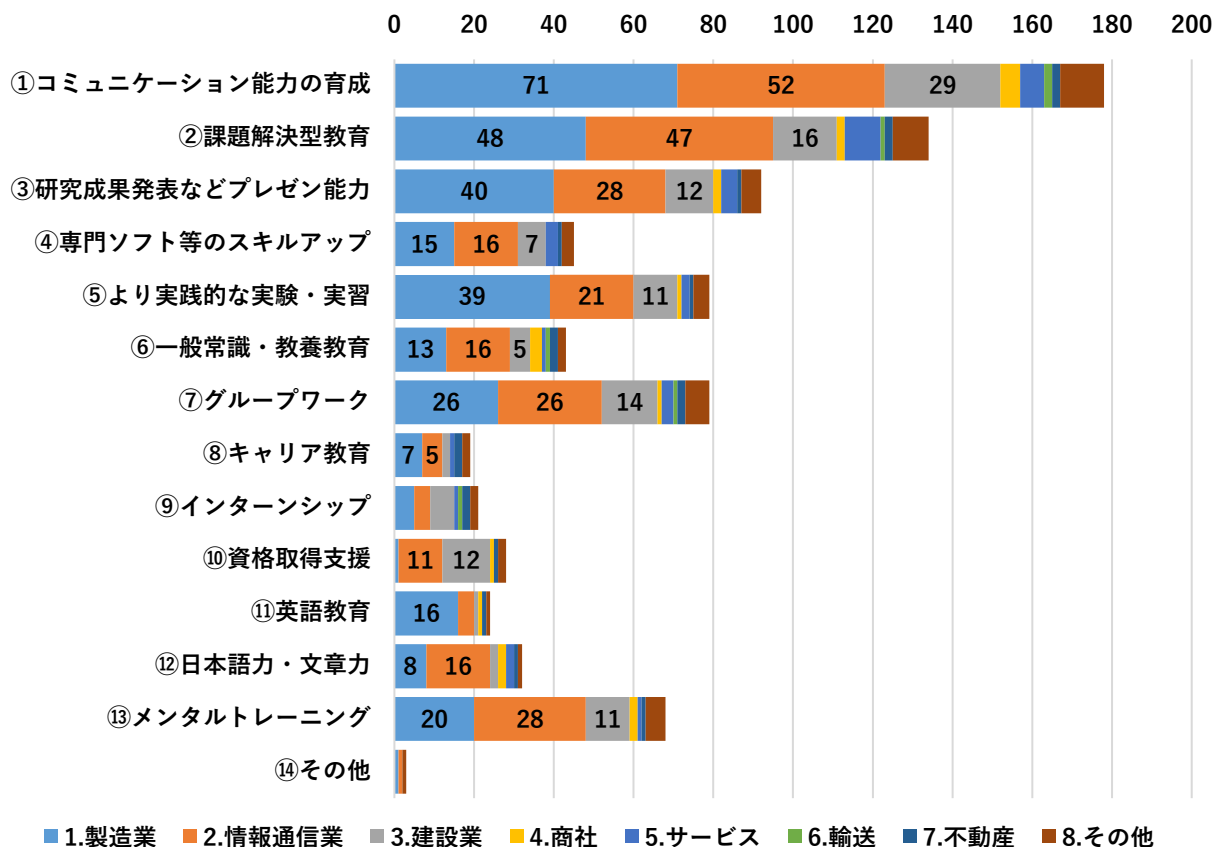
Q3. 最近（目安4～5年の間）貴社を退職した本学卒業生はいますか。



Q4. 最近（2018年～2022年の間）貴社に入社した本学卒業生について、貴社が求める人材像との比較において以下の能力等はどのように感じられますか。（有効回答：239社）。



Q5. Q4.に関連し、本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
 当てはまるものすべてにチェックください。(複数回答)

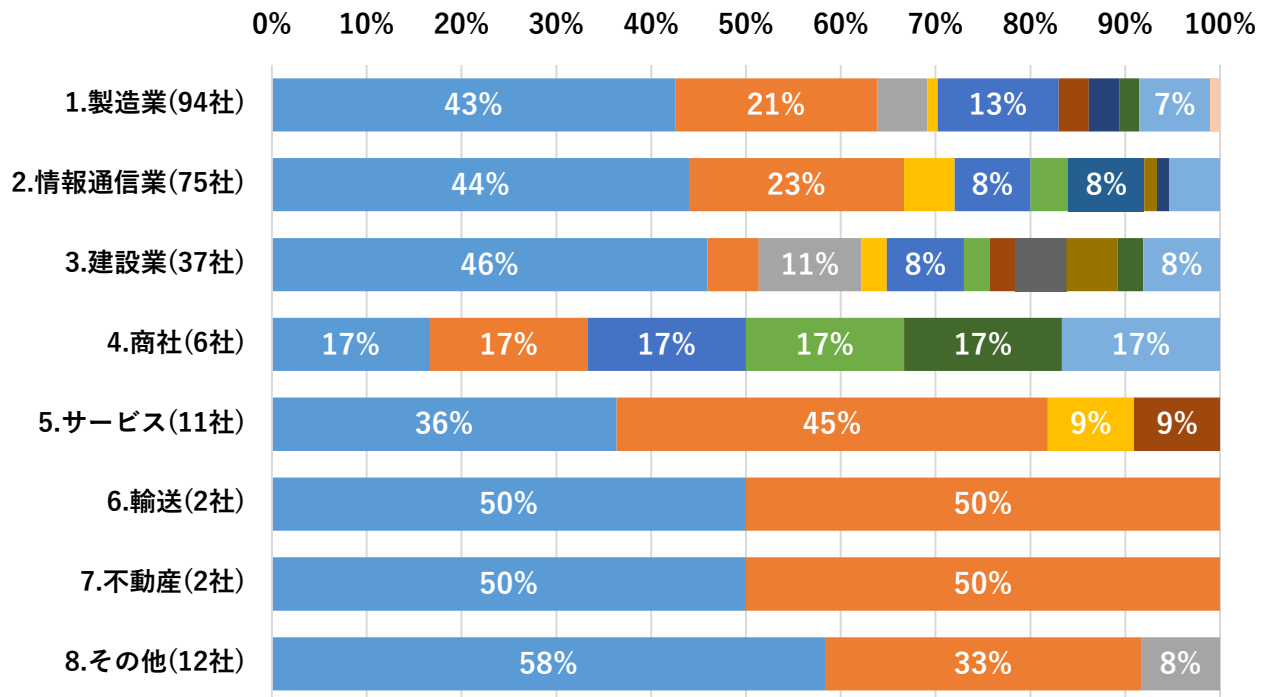


主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	94 社	75 社	37 社
①コミュニケーション能力の育成	76%	69%	78%
②課題解決型教育	51%	63%	43%
③研究成果発表などプレゼン能力	43%	37%	32%
④専門ソフト等のスキルアップ	16%	21%	19%
⑤より実践的な実験・実習	41%	28%	30%
⑥一般常識・教養教育	14%	21%	14%
⑦グループワーク	28%	35%	38%
⑧キャリア教育	7%	7%	5%
⑨インターンシップ	5%	5%	16%
⑩資格取得支援	1%	15%	32%
⑪英語教育	17%	5%	3%
⑫日本語力・文章力	9%	21%	5%
⑬メンタルトレーニング	21%	37%	30%
⑭その他	1%	1%	0%

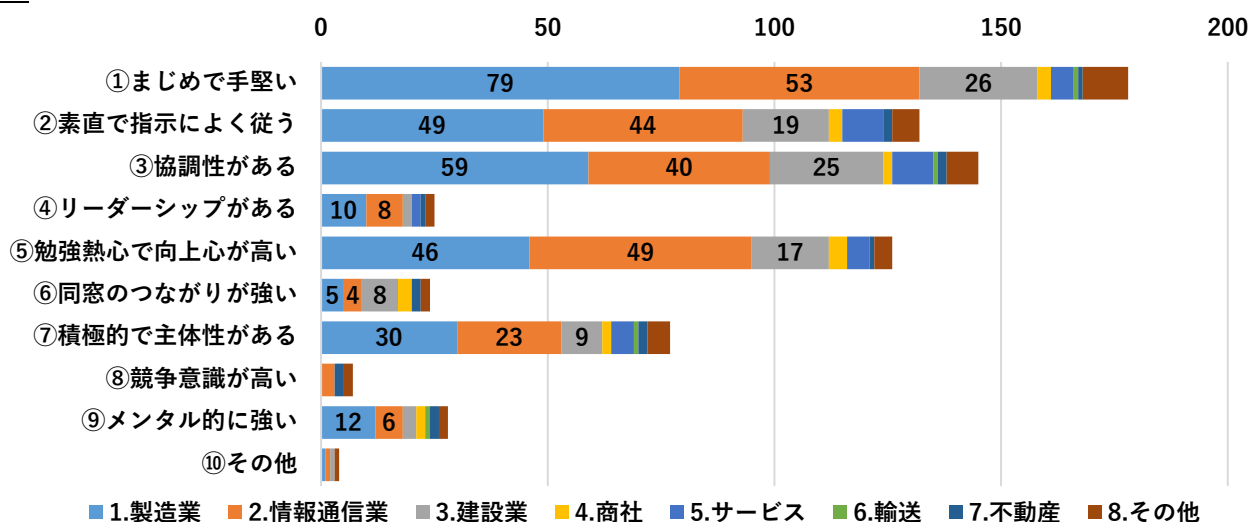
コミュニケーション能力の育成は約7割が回答。「より実践的な実験・実習」は他業種に比べ製造業が多く回答、また「メンタルトレーニング」は情報通信業が、建設業では資格取得支援について多く回答されている。

※ Q5 でチェックいただいた回答のうち、一番重要だと思われるものを選択してください。



- ①コミュニケーション能力の育成
- ②課題解決型教育
- ③研究成果発表などプレゼン能力
- ④専門ソフト等のスキルアップ
- ⑤より実践的な実験・実習
- ⑥一般常識・教養教育
- ⑦グループワーク
- ⑧キャリア教育
- ⑨インターンシップ
- ⑩資格取得支援
- ⑪英語教育
- ⑫日本語力・文章力
- ⑬メンタルトレーニング
- ⑭その他

Q6. 最近（2018年～2022年の間）の本学卒業生について特に感じる傾向等がありますか。（複数回答可）

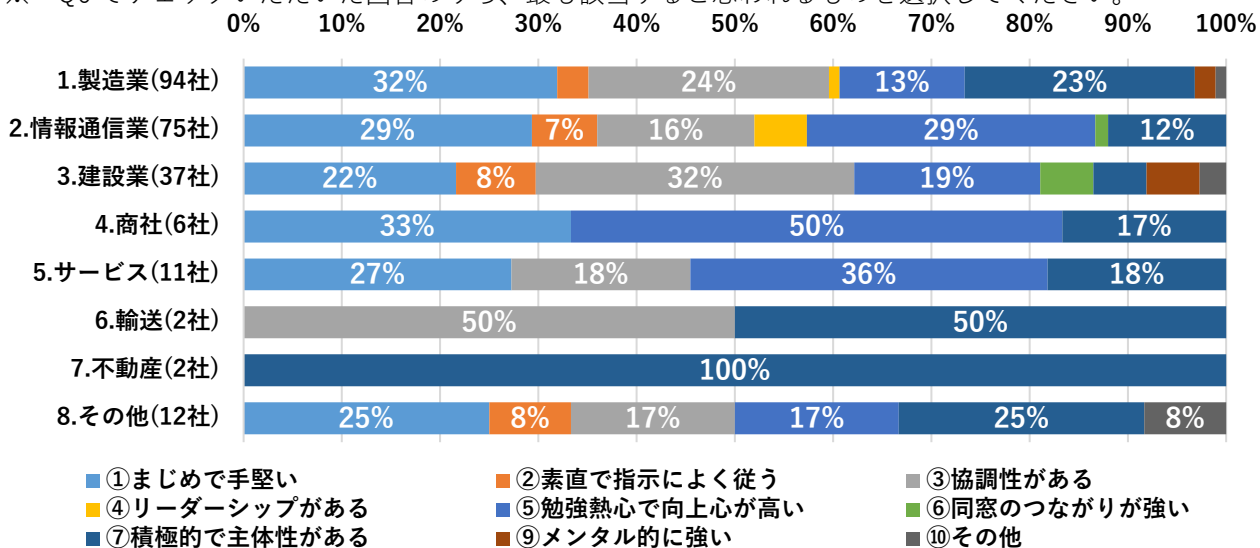


主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

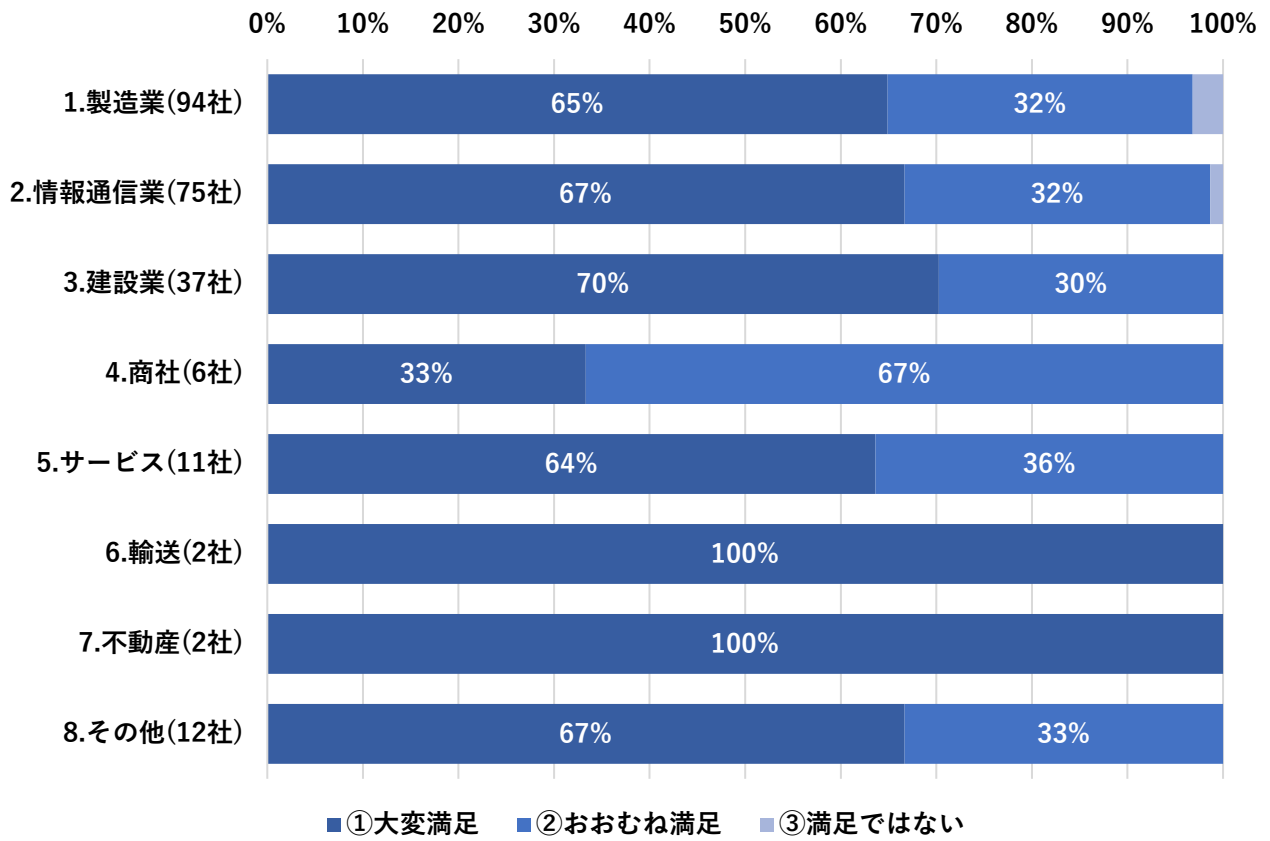
	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	94社	75社	37社
①まじめで手堅い	84%	71%	70%
②素直で指示によく従う	52%	59%	51%
③協調性がある	63%	53%	68%
④リーダーシップがある	11%	11%	5%
⑤勉強熱心で向上心が高い	49%	65%	46%
⑥同窓のつながりが強い	5%	5%	22%
⑦積極的で主体性がある	32%	31%	24%
⑧競争意識が高い	0%	4%	0%
⑨メンタル的に強い	13%	8%	8%
⑩その他	1%	1%	3%

「まじめで手堅い」「素直で指示によく従う」「協調性がある」は主な業種すべてから多く回答が得られた。「勉強熱心で向上心が高い」は情報通信業から多く回答が得られている。

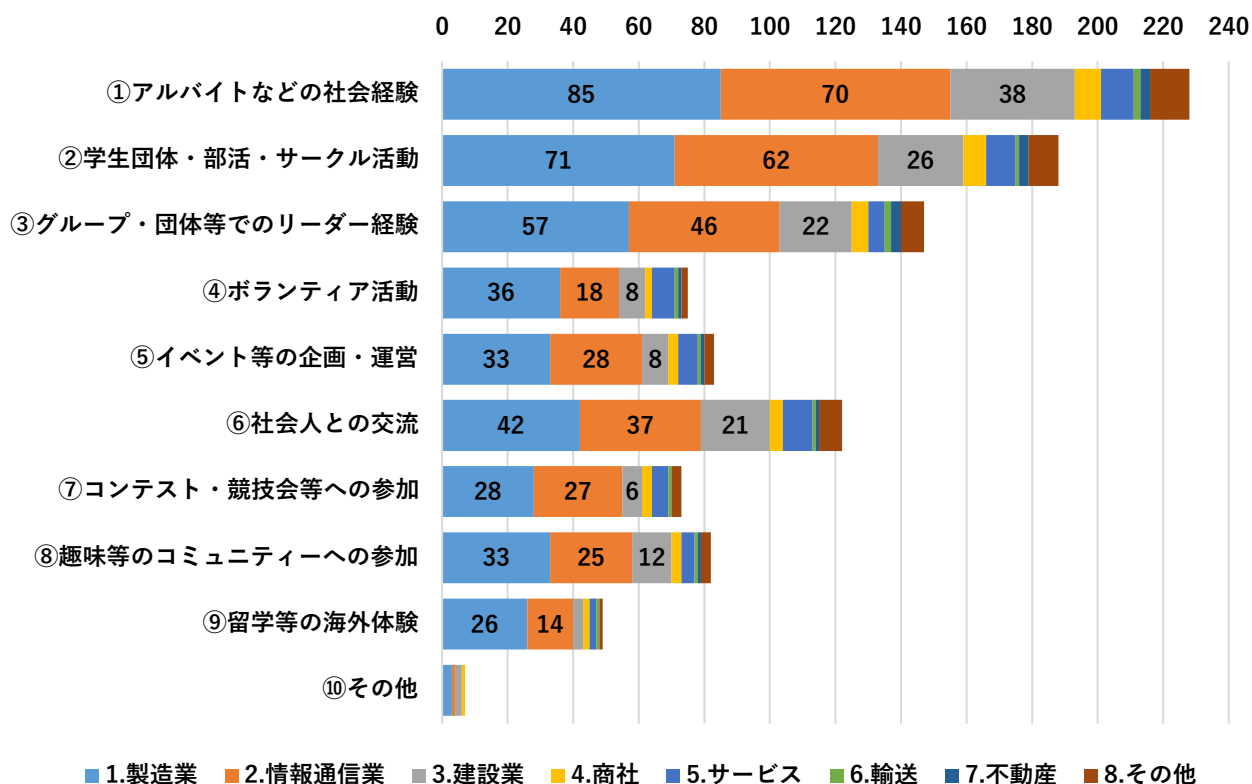
※ Q6 でチェックいただいた回答のうち、最も該当すると思われるものを選択してください。



Q7. 最近（2018年～2022年の間）の本学卒業生についての満足度をお伺いします。



Q8. 社会人として必要な能力育成の観点から特に役立つと思われる正課外の大学生活での経験等がありますか。(複数回答)



主な業種（製造業・情報通信業・建設業）の各項目の回答状況

	1.製造業	2.情報通信業	3.建設業
回答社数	100	79	41
①アルバイトなどの社会経験	85%	89%	93%
②学生団体・部活・サークル活動	71%	78%	63%
③グループ・団体等でのリーダー経験	57%	58%	54%
④ボランティア活動	36%	23%	20%
⑤イベント等の企画・運営	33%	35%	20%
⑥社会人との交流	42%	47%	51%
⑦コンテスト・競技会等への参加	28%	34%	15%
⑧趣味等のコミュニティーへの参加	33%	32%	29%
⑨留学等の海外体験	26%	18%	7%
⑩その他	3%	1%	5%

「アルバイトなどの社会経験」「学生団体・部活・サークル活動」「グループ・団体等でのリーダー経験」「社会人との交流」は上記業種の多くから回答が得られた。「ボランティア活動」「留学等の海外経験」は、製造業から多く回答が得られた。

Q9. のテキストマイニング結果から、一部の回答を抜粋

(1) 製造業

- ・時間や Web システムの使用になれている・他社との直接的なコミュニケーションが欠けている点があると感じられる
- ・この数年の学生さんをみるとオンラインによる影響か、自分から発信するというようなエネルギーを出すということは下がっているように思います。どう自分がしたいことを自ら発信するか、そういうのをより強化していくことが必要かと思えます。
- ・新型コロナの感染拡大状況によってはオンライン授業も仕方ないと思いますが、基本的には対面授業が学生にとって一番意義があると思います。
- ・やむを得ないと感じていますが、面接に来られる際や、社員と座談をするときなど、対面の場合は過度に緊張している様子が見られます。対面でのコミュニケーションを増やしてあげた方がいいと思います。

(2) 情報通信業

- ・カメラ(表情)オフに慣れている学生が多いせいか、現地の頃と比べて、やや主体性が下がっていると感じる。具体的には相手の説明などへの共感、積極的、自主的な質問などが少なく感じます。ひいてはコミュニケーションスキルの低下に繋がりがかねない。
- ・大型の講義についてオンラインは全く違和感はありません。当然のことと思います。しかし私どものシステムエンジニアリングにおいてはシステムユーザの工場・農場・店舗・病院など現地に赴きます。現地の「解決すべき諸問題」を実感し、使命感を共有するためです。問題解決型の思考を養うためには社会情勢が如何にもあれ、人と人の直接接点を大切にすることも必要であると考えます。
- ・現状、IT 業界ではオンライン化が進んでいるので、導入はとても良いと思います。

(3) 建設業

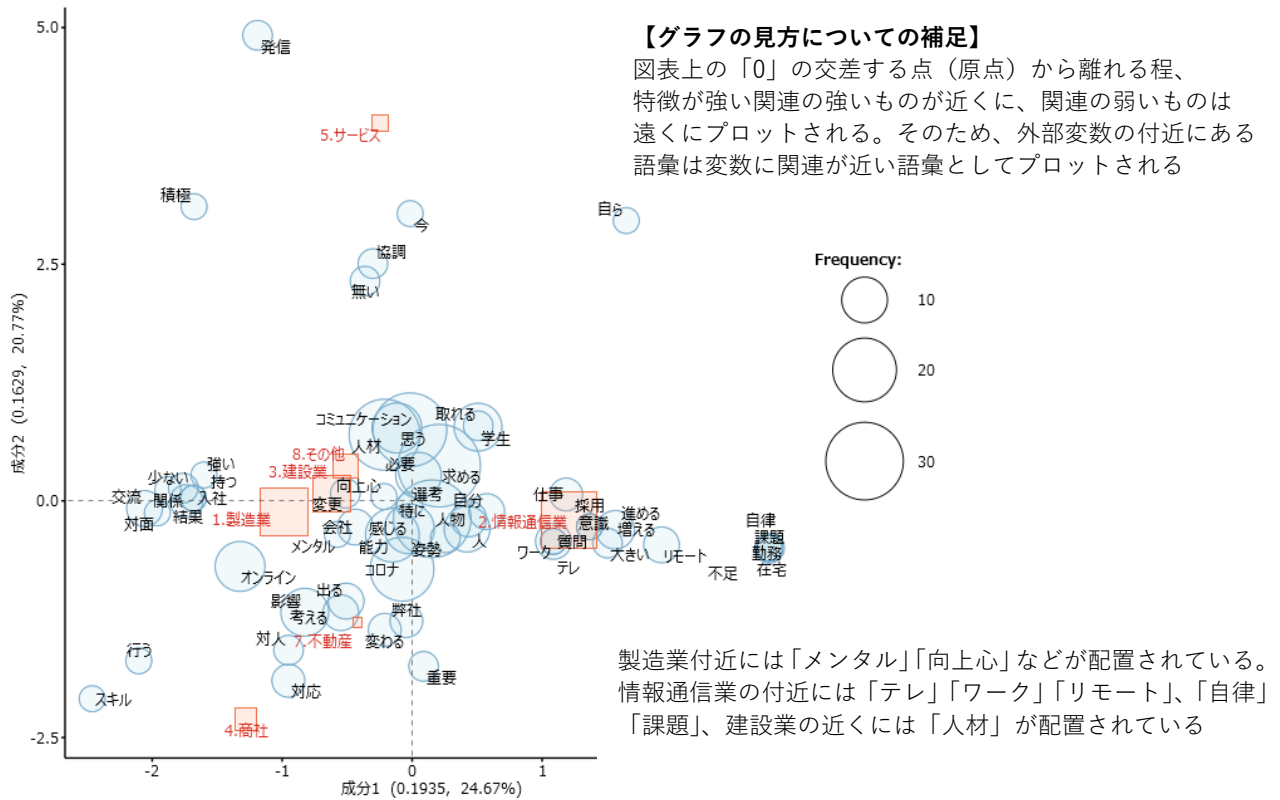
- ・社会人になってもオンラインで仕事をする事は今では当たり前になっているので、経験値としては良いと思います。一方でオンライン偏重ではなく、対面式での授業や学生生活も人材育成の観点から非常に大事な事だと思えます。
- ・適宜必要かと思うが、コロナ禍により人と関わりながら作業をしていく力が落ちてきているように感じるため対面での授業の方が上記の力の育成には向いているように感じる。

(4) その他の業界

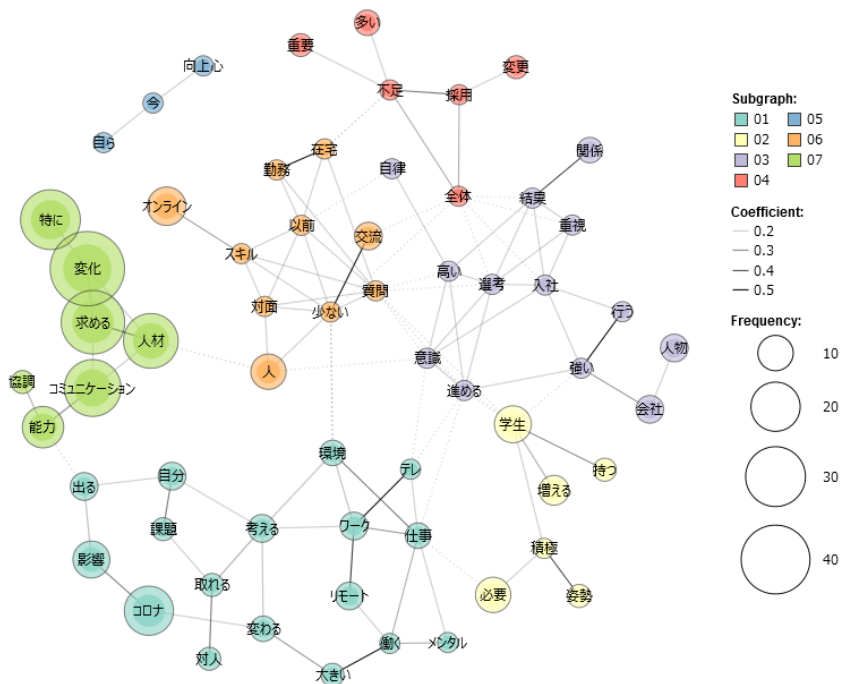
- ・PC の扱いや Zoom などのツールの操作に慣れているのが良いと思います。当社でもそうですが、オンラインでは雑談などを含めた会話や人との繋がりが少なくなるため、心身の健康を維持するための方策を今後ともとっていきたいと考えます。
- ・24 年卒の学生様は入学時よりオンライン世代という事もあり、対面への苦手意識が例年よりあるのではないかと不安に思うことが選考を通してあります。

Q10. 「コロナ禍の影響により、貴社が求める人材に変化があればお聞かせください。(自由記述)」 についての KH Coder によるテキストマイニング

(1) 対応分析…変数（業種）と抽出語の関係性を可視化して、特徴的な抽出語を座標上に配置する。



(2) 共起ネットワーク …単語が共通に出現する関係を円と線で表示した図。



Q10 のテキストマイニング結果から、一部の回答を抜粋

(1) 製造業

- ・メンタル調整とコミュニケーション能力、協調性。コロナ禍の影響により、コミュニケーション能力に影響が出ていると感じている。
- ・特に変化はございませんが、オンラインでのコミュニケーションスキルやリテラシーについては今後求められるポイントになる可能性がございます。
- ・変化はありませんが、基本的に向上心を持った人材を求めています。受け身では今の情勢で生き残っていくのは難しい…また、礼儀作法（簡単に言えば挨拶）が出来る人材を家庭や教育機関で育てられないことに対し、会社としての在り方（求め方）も改める必要性を感じています。

(2) 情報通信業

- ・コロナ禍というわけではないですが、自分で課題を見つけ、調査し解決しようすることが必要だと思います。
- ・以前は、開発現場での協調性が大切だったが在宅勤務者が 50%のため、個人の問題解決能力とコミュニケーション能力が大切に思われる
- ・会社の制度（研修）に頼りきりな人物ではなく、自ら動こうと努力出来る方。
- ・社内でもコミュニケーションの課題（顕在化）が出てきております。コミュニケーションに限らず、課題を課題と適切に捉え自分から何かしらのアクションを取れる人材は成長できると考えます。

(3) 建設業

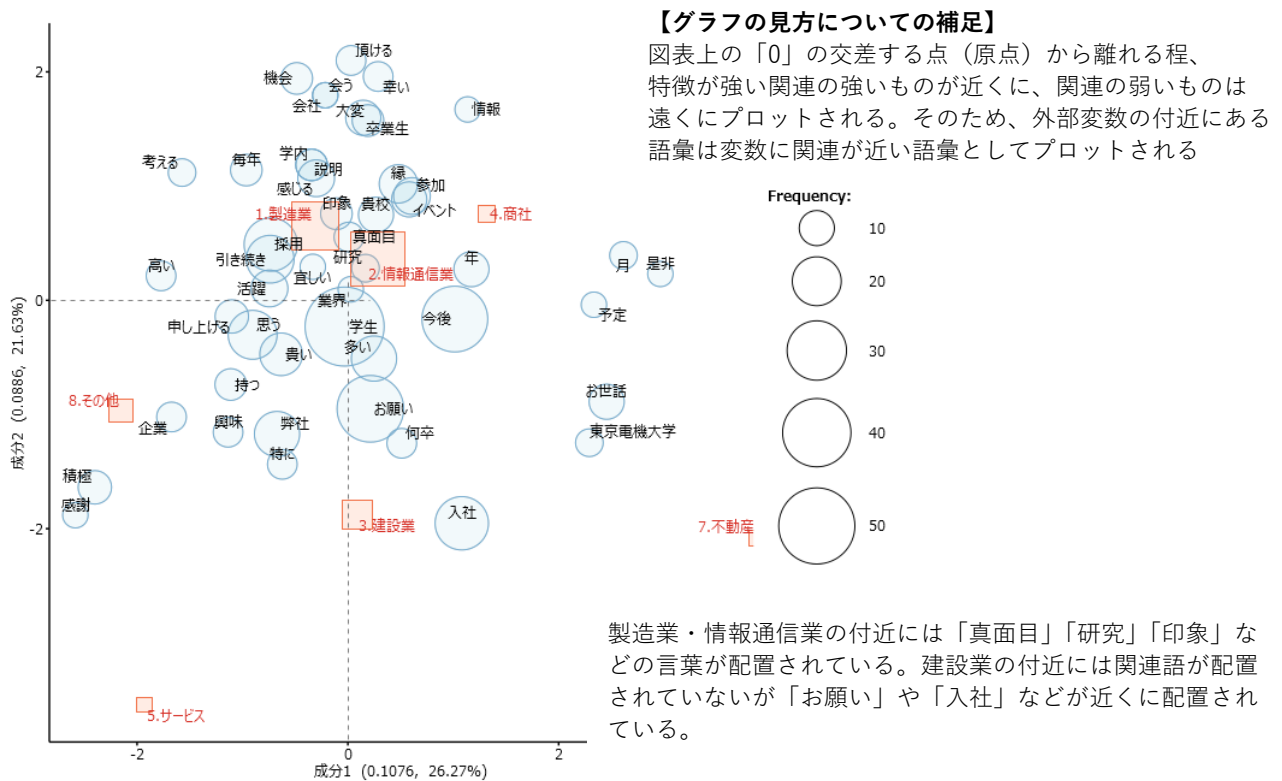
- ・コロナ禍とは関係ないかもしれませんが、対面でのコミュニケーションが希薄（苦手）な若者が多くなってきている気がします。当社が求める施工管理はどうしても人が相手になるので、コミュニケーション能力に長けた人材を望みます。
- ・コロナ禍と直接の関係はないが、結果的にデジタル化のスピードが上がったと感じる。業務のデジタル化に向けて新しいシステムを構築できる人材は有用。
- ・DXを推進できる方

(4) その他の業界

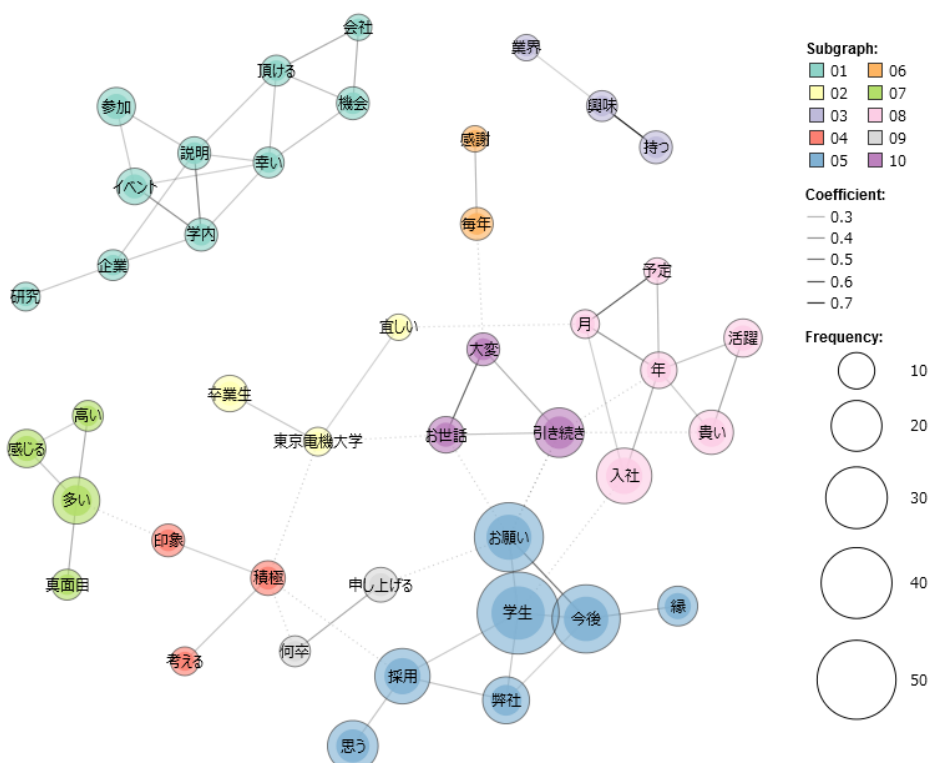
- ・コミュニケーションが取りづらいため、今まで以上に自ら発信できる人材が求められています。
- ・求める人材に変更はなく、「コミュニケーション能力」「向上心」「協調性」の3つを求める人物像に定めております。
- ・粘り強くチャレンジできる、先を見通す能力、変化に対応できる力を求めています。
- ・変化に対応できる柔軟性やプレッシャーへの耐力のある方。

Q11. 「その他、本学や本学学生についてご意見やご要望などがあれば自由にご記入ください。(自由記述)」
 についての KH Coder によるテキストマイニング

(1) 対応分析…変数（業種）と抽出語の関係性を可視化して、特徴的な抽出語を座標上に配置する。



(2) 共起ネットワーク …単語が共通に出現する関係を円と線で表示した図。



Q11. のテキストマイニング結果から、一部の回答を抜粋

(1) 製造業

- ・真面目でものづくりの好きな学生ばかりなので、毎年採用したいと思う学生が数多くおります。入社後もコツコツと努力をしてくれるので、社内での東京電機大学生の評価は高評価です。
- ・真面目にコツコツと学ぼうとする人物が多い印象を持っています。中にはリーダーシップを発揮する人物もいると思いますので、今後も積極的に採用していきたいと考えています。
- ・東京電機大学の卒業生・学生様は、真面目に主体的に取り組まれる方が多い印象です。例年1月に開催されます「卒業生による仕事研究セミナー」にも参加させて頂いておりますが、他大学の学生と比較し、企業研究意識や積極性が高い方が多い印象があり、貴学の学生支援センター様の取り組み姿勢が高いことが学生にも浸透していることが窺えます。市場的には、学生の学内セミナー離れが進む中、貴学のイベントは興味深い学生とお会いすることが出来る特別なイベントと感じております。ぜひ今後共、繋がりを大切にさせて頂きたく宜しくお願い致します。

(2) 情報通信業

- ・貴校の学生様は真面目で実直な方が多く、弊社の社風にマッチする方が多く、現に定着率も高いです。是非今後も継続して貴校の学生様を採用させていただきたいと思っております。
- ・キャリア教育の充実（働くことの意義、就活における業界研究、企業研究、職種研究における視座の涵養）
- ・就職活動（情報収集やインターン参加を含む）については、早期（学部3年時・修士1年時の夏）に開始してほしい。
- ・例年、まじめで素直な学生が多いと感じます。専門分野を勉強しているものの、資格取得や資格勉強を進めている学生は比較的少ない印象です。最近文系の学生でも専門的な資格を自己学習で取得している学生も多い為、「理系」「情報系」「専門分野を学んできた」というだけでは内定獲得は難しい状況になっているのかな、と感じます。

(3) 建設業

- ・建築系の学生のみならず、他学科であっても建築業界に興味を持ってもらえるとありがたい。
- ・貴学の学生様は真面目で熱心な方が多く、入社後も大いに活躍いただいております。今後も良いご縁が続くよう努めますのでどうぞよろしく願いいたします。
- ・昨年入社した御校卒業の社員は、先輩の施工管理者の下しっかり仕事と向き合って頑張ってくれています。本当に入社してくれたことに感謝しております。今後も御校の学生が弊社に入社してくれるように努力していく所存です。今後共よろしく願い致します。

(4) その他の業界

- ・要返信のメール連絡には返信してほしい。
- ・弊社に入社した人は在学中に資格も取得できており良い人材である。就活が遅めだったので弊社に辿り着いた感があるが、もっとチャンスはあったと思う。在学生には積極的に色々な企業に出向き、自身の可能性を広げられる就職先を見い出してほしい。

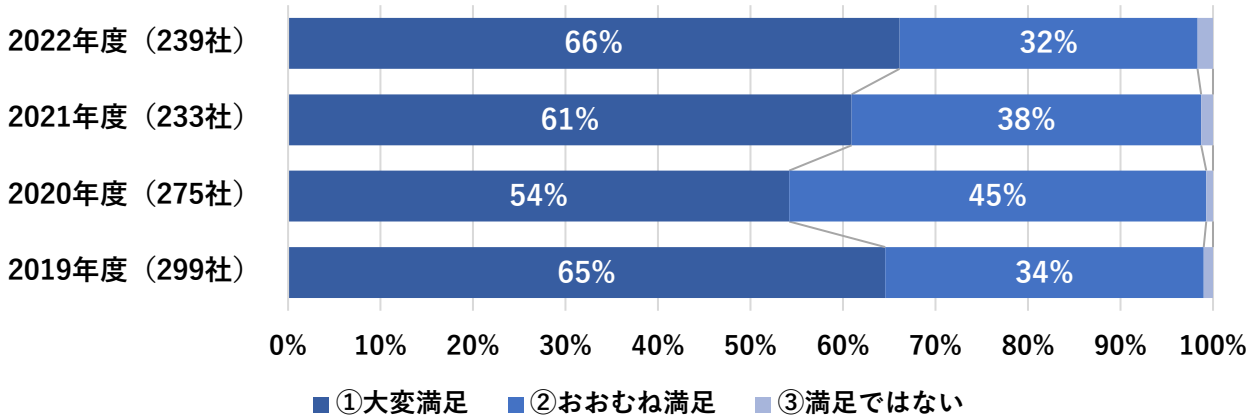
経年比較

1. 採用した学生への満足度及びコミュニケーション能力の評価の経年比較（ ）内は有効回答社数

(1) 満足度の推移

満足度はコロナ禍を機に低下していたが、全体的には復調傾向にある。

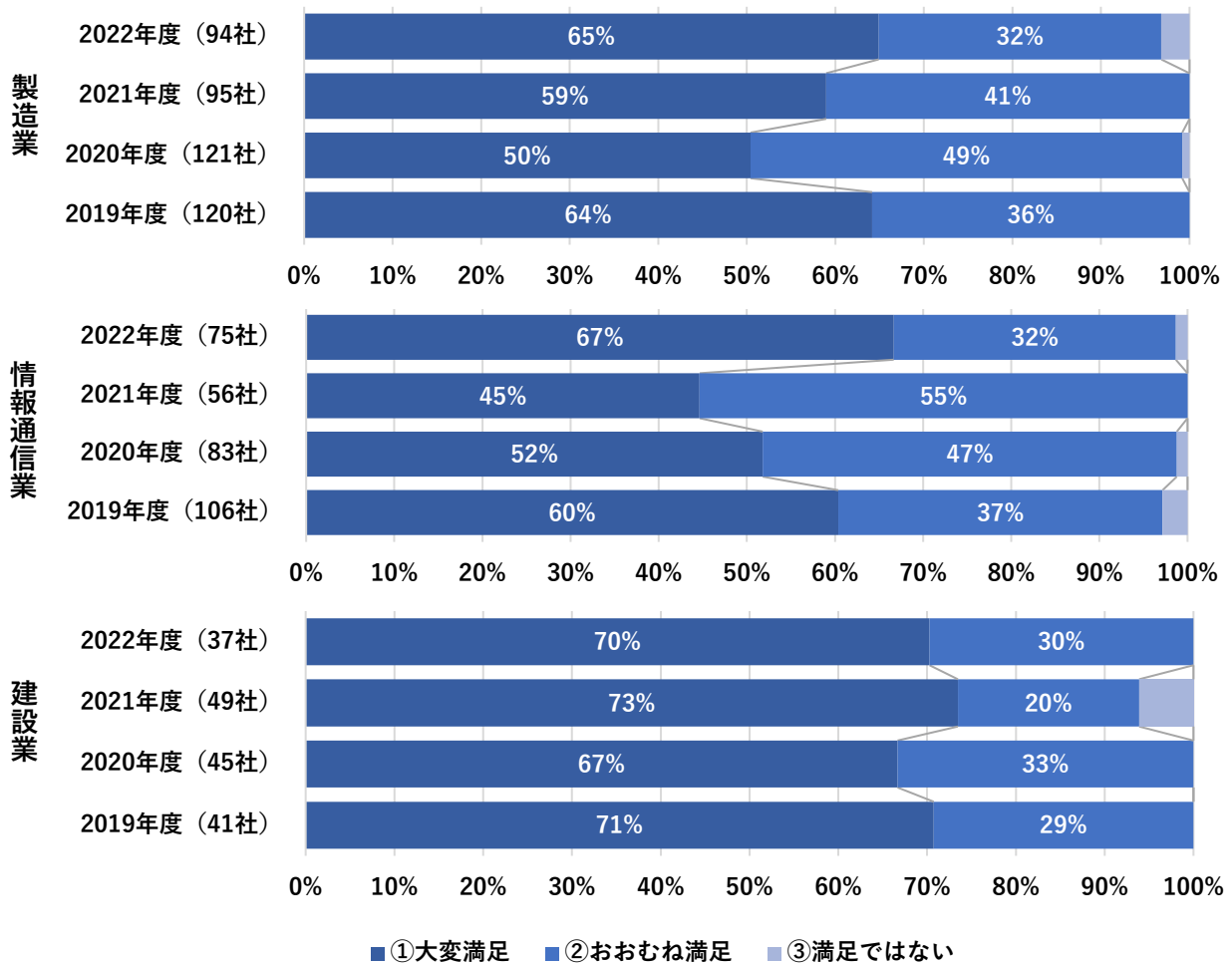
企業側の採用活動や環境自体の変化影響もあるがコロナ前の数値まで戻している。



(2) 主な業界（製造業・情報通信業・建設業）の満足度の推移

製造業・情報通信業は満足度が低下したが2022年度からコロナ前まで改善。

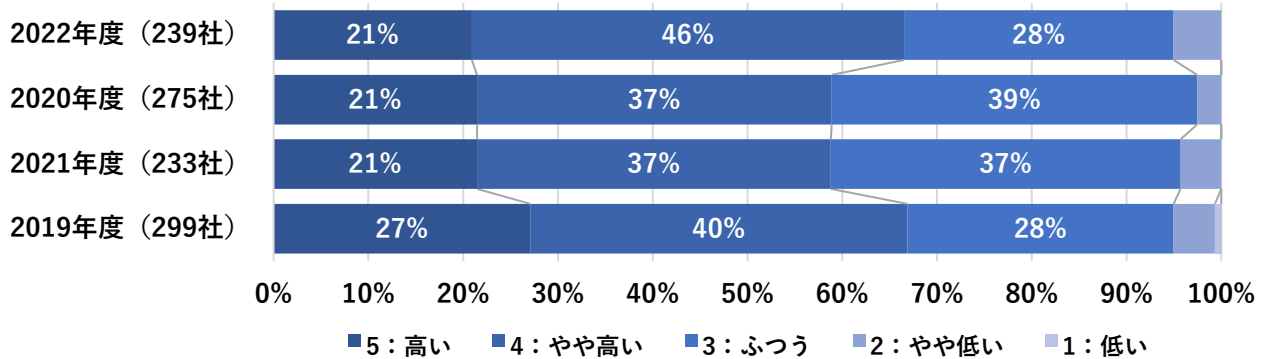
建設業はコロナ前後での満足度の影響は見られなかった。



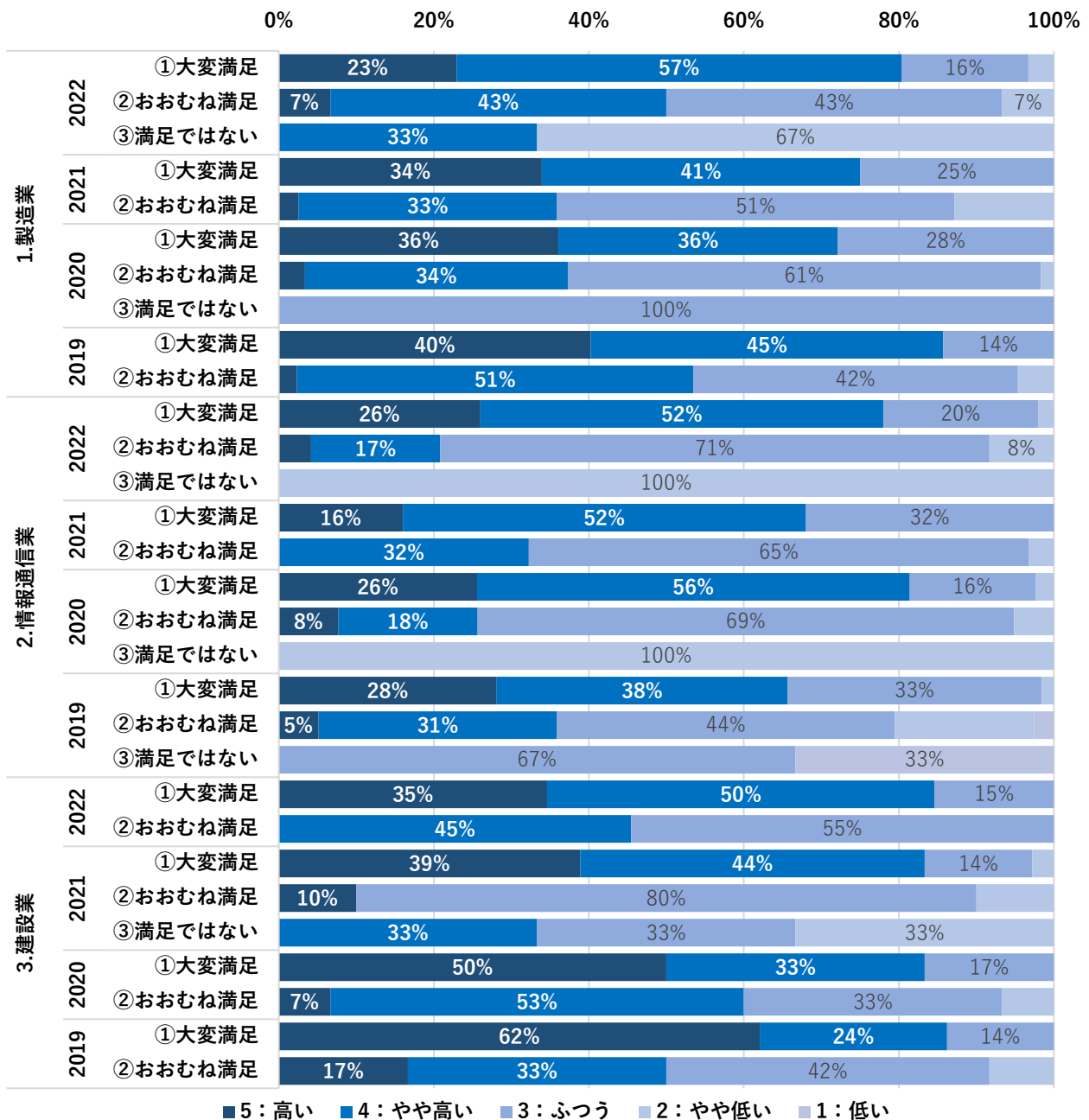
2.採用した学生の能力評価の推移

Q5での最も重要だと思う項目及び、Q9~10における自由記述で頻出した多かったコミュニケーション能力について経年推移と他の変数との集計、コミュニケーション能力への評価と満足度の間には相関の傾向がみられた。

(1) Q4の入社した卒業生への能力評価「コミュニケーション能力」(全体)



(2) 採用した学生の満足度とコミュニケーション能力の相関 (主な業種を抜粋)



総括

この報告は、IRセンターのデータ集計により作成し、教育の質の保証への参考とすることを目的としている。2022年度は、過去3年間に学生が内定した企業を中心とした1,303社を対象にアンケートを実施した。

電大生への全体的な満足度は「大変満足」と「おおむね満足」を合わせると全ての業界で100%または100%に近い高い数値であった。また、電大生の能力について聞いたところ、昨年度に続き今年度も「**基礎的な知識・技術**」と「**意欲・積極性**」が高い数値となった。課題となるのが「**日本語力・文章力**」と「**語学力**」となった。話す力・書く力、更にはグローバル化に対応した英語などの語学力が求められている。**基礎的な知識や技術への教育は継続しつつ、更には相手へ伝える力や語学力を高めていく教育が求められている。**伝える力は後に示すコミュニケーション能力に繋がってくる。

電大生への意見や要望についての自由記述欄では「真面目にコツコツ」、「真面目で実直」、「真面目で素直」など卒業後も真面目に業務に取り組んでいることが高評価に繋がり、企業からは積極的に採用したい、今後も繋がりを大切にしたいと好意的な意見が多かった。一方で「**他者との直接的なコミュニケーションが欠けている**」、「**主体性が下がっている**」、「**人と関わりながら作業をしていく力が落ちてきているようだ**」など、コロナ禍の影響を反映された意見もあった。

また、より充実すると良いと思われる教育について聞いたところ「**コミュニケーション能力の育成**」、「**課題解決型教育**」、「**研究成果発表などのプレゼン能力**」だった。**グループワークやPBLなどの課題解決型授業の推進、研究発表や学会発表など、学びの中で人と関わる経験が重要**となってくる。

キャリア支援・就職担当ではグループディスカッションを通して学生同士が議論し発表する講座を設けている。その他コミュニケーション講座や面接練習では話す力だけでなく、ノンバーバルコミュニケーションについても説明しコミュニケーションの醸成に努めている。また書く力では「履歴書・エントリーシート対策講座」の実施や個別の添削指導も行っている。

最後にコミュニケーションの醸成には様々な価値観を持った友人や教員、社会人と直接対話をする機会は何よりも大切である。「卒業生による仕事研究セミナー」など卒業生や人事担当者と会話ができる機会を今後も継続して提供していきたい。

以上